

国道55号線

姫倉古戦場の碑  
戦場で戦い死した戦者  
敗者の別なく埋葬された  
珍しい碑として伝えられる

# 月見山 こどもの森

道中ばい  
運転注意

ぐんぐんあがる  
ことわたらの  
わくわくメーソー

展望台からは太平洋  
香長平野~北の山並  
みが一望できる。

山のるぺんにば  
幸いかあるといわ

今から800年程の昔、争いの世によって  
後鳥羽上皇の息子、土御門上皇は  
土佐に配流とされた。  
その後、阿波へ移る途上に岸本の  
常楽寺(現 宝幢院)に滞在した時期、  
この山に登り月見をされ和歌を詠ぶ  
ことから「月見山」と呼ばれるようになる。  
また1979年の国際児童年を記念して高知県が児童の健全な  
育成をはかる目的で、月見山に「こどもの森」と開設した。



姫倉城  
戦国時代、土佐の国は土佐七雄  
(土佐七幕府)である長曾我部、本山  
安芸、吉良、津野、大平、香宗我部。  
劇格の公家と名一条の朝力が  
拮抗していた。  
姫倉城は安芸国丸の内前衛拠点  
として姫倉豊前守が守っていた。  
永禄12年7月(1588)長曾我部ら  
との激戦によって落城している。  
城跡には東西南北から向き合う  
4人の幼な子の像が設置して  
ありるともわたらの像やかな未来を  
祈念している。

月見山は一年を通じて様々な  
花木が四季折々、野山で  
美しく彩ります。  
緑いっはりの自然の中で  
心も体もときほがして森の  
風と光を感じましょう

森に目と向けよう  
高知県の森林率は  
84%で全国1位。  
森林には水と育み  
国土を守り「森の力」  
がある。  
森の未来を考え  
森のことを知り。

晴れた日は太陽に手をかざし  
雨の日には雨粒をながめ  
森の風と海の風を感じて  
月見山の自然を楽しもう

グリーンアドバンチャー  
園内の植物番号の名前を  
解答して自然を発見  
しながら楽しむことが  
できる。

木の奥にはウロコ  
(鱗)のある木がある。  
モモンガのすみかかも。

南向きの歩道  
樹木のトンネル  
落ち葉を踏み  
歩く。

木を畑にいざよえる 探鳥の森